

(別添)「令和6年度学校推薦型小論文試験問題」抜粋

問題 次頁からの図および課題文をもとに以下の間に答えなさい。

問1 図1は、防災・減災のための行動として、大地震に備えた「自助」*1の取組に係る選択率の推移を示したものである。この図から読み取れる「自助の取組に係る推移の特徴」を3つ、具体的な数値と共に簡潔に説明しなさい。

問2 「自助」と「共助」*2を考える上では、家族や身近な人と話し合いを持つことが重要である。図2-1は、ここ1～2年くらいの間に、自然災害への対処などを家族や身近な人と話し合ったことの有無を年代別に示したものである。図2-2は、話し合ったことがない理由を年代別に示したものである。

この図から読み取れる「各年代の特徴」を他の年代と比較して、図2-1から1つ、図2-2から2つ簡潔に説明しなさい。

問3 図3は、自然災害が起こったときに、減災のために自助・共助・公助*3のうちどれに重点をおくべきと考えるかの回答結果を性・年代別に示したものである。この図から読み取れる性・年代別の特徴を他の性・年代と比較して3つ簡潔に説明しなさい。

問4 課題文は令和4年版防災白書(内閣府)から抜粋したものである。問1から問3と課題文をふまえて、住民の自助・共助を主体とする防災・減災の実現への課題と必要な取り組みについて、あなたの考えを450字以上500字以内で述べなさい。ただし、原稿用紙の使い方に従うこと。

(注) ※1・「自助」:自分の身は自分で守ること。この中には家族も含まれる。

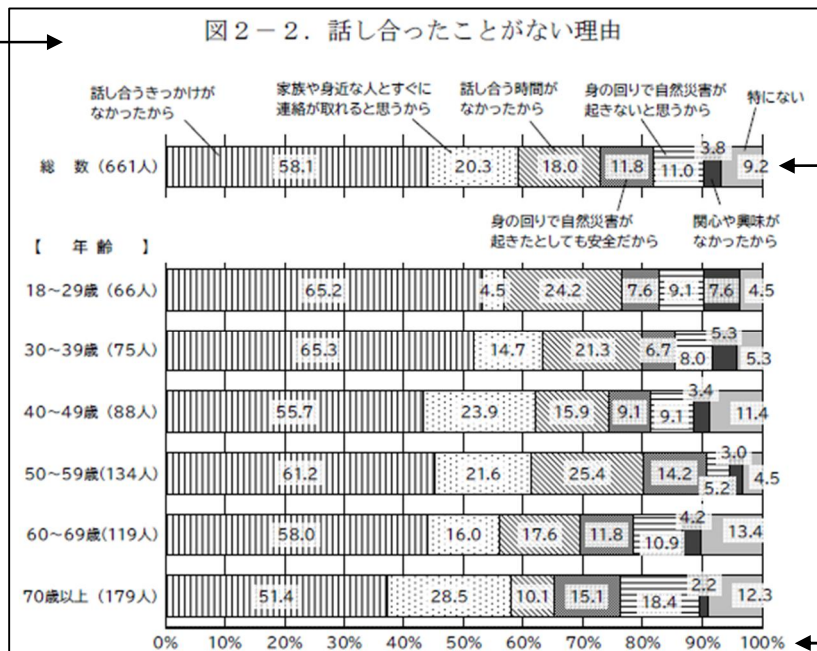
(注) ※2・「共助」:地域や身近にいる人どうしが助け合うこと

(注) ※3・「公助」:国や地方公共団体が行う救助・援助・支援

出典:内閣府「防災に関する世論調査」(令和4年9月調査)(一部改変)

誤って表示した試験問題 問2「図2-2. 話し合ったことがない理由」

【誤り①】
複数回答式の調査結果であることを明示していない



【誤り②】
複数回答式であるにもかかわらず、100%積み上げ棒グラフで表示している(例:「総数」の合計値は132.2%となっている ※他全ての棒グラフも同様の誤り)

【誤り③】
各棒グラフのデータラベルの数値と目盛りのパーセンテージが整合していない